



投資環境

2025年6月27日

半導体株高や需給改善を受けて、日経平均株価は4万円台に

日経平均株価が4万円を超えるなど、最近の日本株は堅調な動きが続いています(図表1)。ここでは、日本株の上昇の背景をまとめたくて、今後の見通しを示したいと思います。

図表1. 日経平均株価



(注) データは25年1月6日～25年6月27日まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

□ 上昇要因

①半導体株の急反発

半導体関連株の急上昇が日経平均株価の押し上げ要因となっています。日米の半導体株指数は、中国の新興企業の台頭を受けて米国の最先端の半導体需要が落ち込むのではないかとの懸念や、トランプ政権の関税政策への懸念が強まったことなどから、2月末から軟調な動きが続き、4月上旬には急落局面がありました(図表2)。ただその後は、米中が双方に課していた関税を大幅に引き下げたことに加えて、人工知能需要の拡大を背景に米証券会社のアナリストがエヌビディアの株価見通しを引き上げたことや、米マイクロンの決算が市場予想を上回ったことで、日本でも半導体関連株を物色する動きが強まり、日米の半導体株指数は年初の水準を回復しました。半導体関連株は、日経平均の指数構成割合が高く、最近の日経平均株価の上昇を牽引しています。

図表2. 日米の半導体株指数



(注) データは25年1月2日～25年6月26日まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

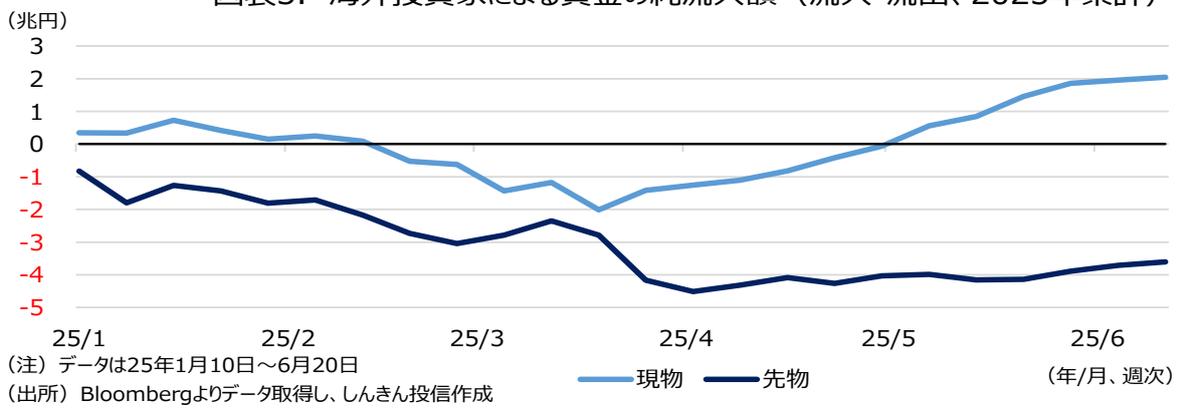
②需給改善

需給改善も株価の押し上げ要因です。まず海外投資家については、現物の純資金流入（流入－流出）が12週間連続で買い越しとなっているほか、先物も4週間連続で買い越しとなっています(図表3)。現物の資金流入が、12週間連続で買い越しとなったのは、23年の春以来のことです。

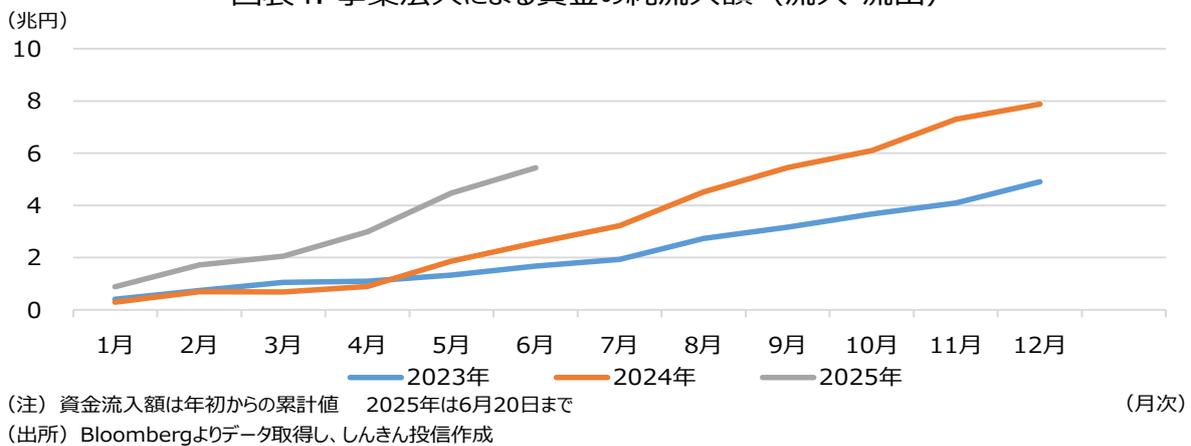
また、事業法人の動向を確認すると、自社株買いの増加を背景に継続的に資金流入が続いています(図表4)。6月20日時点の純資金流入額は、昨年の同時期と比べて約2倍となっています。

個人投資家は最近売り越し基調が続いていますが、海外投資家と事業法人の資金流入が株価の押し上げ要因となっています(図表5)。

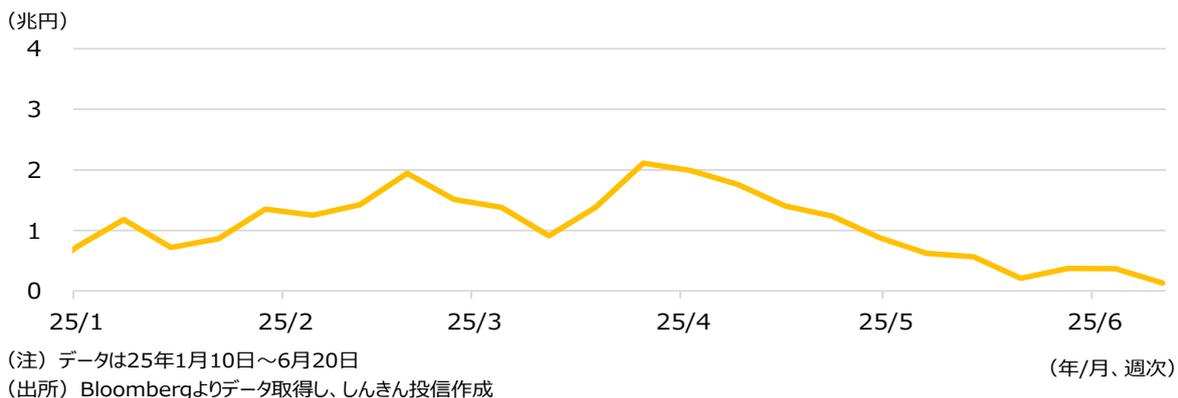
図表3. 海外投資家による資金の純流入額（流入-流出、2025年累計）



図表4. 事業法人による資金の純流入額（流入-流出）



図表5. 個人投資家による資金の純流入額（流入-流出、2025年累計）



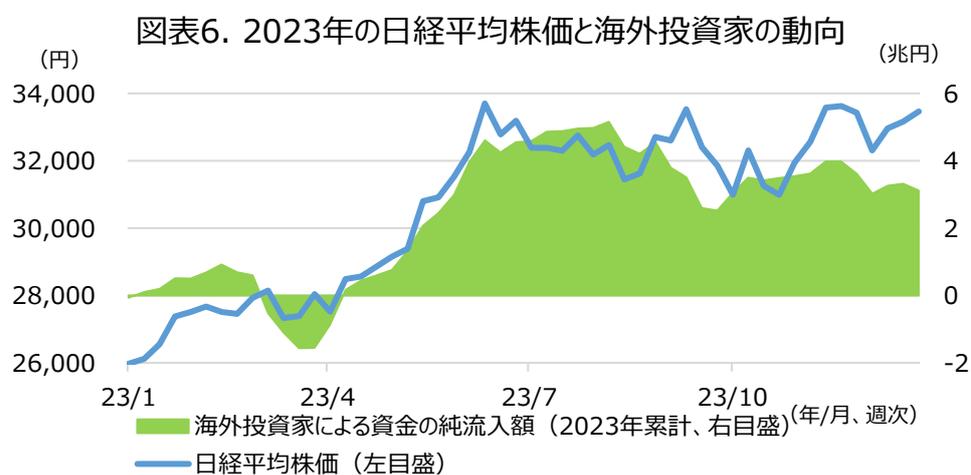


しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

□ 今後の見通し

今後の日経平均株価は、不安定な動きとなる可能性があります。7月は、上旬に米国が発動した相互関税の上乗せ部分の猶予期限を迎えるほか、20日に参議院議員選挙、月末に日銀の金融政策決定会合が予定されており、重要イベントが目白押しです。これらのイベントの終了直後は、荒い値動きとなる恐れがあります。7月下旬から本格化する日米の主要企業決算発表も注目されます。関税政策の影響が懸念されますが、市場の想定よりも堅調な内容になれば、一段と株価が上昇する展開も想定されます。

ただし、海外投資家の資金流入が止まると、しばらくもみ合う展開となる可能性もあります。2023年は、海外投資家の資金流入が3月から6月まで12週間連続で続いた後、その後は年末までネットでは資金流出となりました(図表6)。海外投資家の資金流入が止まったことで、2023年の日経平均株価は6月から上値の重い動きが続きました。海外投資家の資金流入が継続しなければ、今年の日経平均株価は4万円近辺で当面推移する可能性もありそうです。



(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。